



平成25年度 総会・懇親会のご案内

総会は5月25日、懇親会は8月31日に開催！楠葉同窓生！

佐賀大学楠葉同窓会の総会及び懇親会を下記のとおり開催します。今年も、より多くの年代の方が懇親会へ参加していただけるよう、総会と懇親会を別の日時としましたので皆さんの多数の参加をお待ちしています。特に、今後の同窓会活動を担っていただけるような若い世代の参加を期待しています。

なお、今年度は役員改選の時期となっておりますので役員に立候補される方は右の要領で、必要事項を記入のうえ、同窓会事務局内の役員選出委員会に届け出てください。

記

総会

日時場所 平成25年5月25日(土) 16時
佐賀ワシントンホテルプラザ11F
「銀座八丁」
佐賀市駅前中央1丁目164番地
TEL 0952-25-1111

参加者 役員、代議員（会則11条）



懇親会

日時場所 平成25年8月31日(土) 18時
佐嘉神社記念館
佐賀市松原4-10-43
TEL 0952-24-4122

参加者 楠葉同窓生会員

※今年の懇親会は、経済学部60年入学生を中心に実行委員会が発足する予定ですので、同年代の方は多数参加し思い出話に花を咲かせてはいかがでしょうか！

役員改選（公示）

立候補者の受付について

「楠葉同窓会会則」第6条及び「役員選出規程」に基づき、5月25日の総会で選出される次期会長、理事及び監事の候補を次の要領で受け付けます。

- 1 立候補資格 同窓会正会員
- 2 受付期間 5月1日～5月15日
- 3 届出方法 次の内容を記載した書面を事務局へ提出

- ① 立候補の区分 会長、理事、監事
- ② 氏名
- ③ 現住所
- ④ 出身学部、学科、入学年次

4 総会当日の、会場での立候補は受け付けませんので御了承ください。

楠葉同窓会役員選出委員会

委員 光岡 正登（昭30入 文理・経済）
小池 政雄（昭30入 文理・英文）

連絡先 佐賀大学楠葉同窓会事務局
佐賀市本庄町1番地佐賀大学内
☎ 0952-23-1253



むらかみ なおみ
村上 直己氏 (H61入・経済)



ほりた じゅん
堀田 潤氏 (H13入・経営・法律)

卒業生を迎えての キャリアデザイン講座を開催

平成17年度から大学と同窓会の共催で、全学部の2～3年生を対象に実施している「キャリアデザイン(自分発見)講座」を開催しました。

平成24年10月10日は、昭和61年経済学科入学の村上直己さん(NHKプランネット九州支社制作統括部長)、10月17日には、同じく平成13年経営・法律学科入学の堀田潤さん(佐賀銀行基山支店得意先係)のお二人に担当していただきました。

村上さんは、就職するのが大変困難と思われていたテレビ局への採用を如何にして果たしたか、自身が学生時代に取組んだ就職のための戦略を話し、また、若い時にさまざまな経験を積むことや新聞や週刊誌、映画鑑賞などといった情報をインプットすることの大切さを講話されました。

堀田さんは、学生時代にアルバイトを頑張った経験が、目上の方との接し方や人との出会いの大切さを学ぶことに繋がったこと、また、就職活動の面接において、面接官が何を聞きたいか、何を心がけて話せばよいかなど具体的で分かりやすい講話をしていただきました。

会場を埋め尽くした約300名の学生は、自身の今後の参考にしようと熱心に聞き入っていました。



佐賀大学 & 経済学部スナップ



経済学部の敷地内です。芝生が綺麗です。



学部事務のある建物です。ずいぶん古くなった気がします。

懐かしいでしょうか？
それとも面影もないでしょうか？
今回は、キャンパスや経済学部の日常を写真に収めてみました。



学生談話室です。おしゃれな雰囲気です。



と思ったら、改修工事のため事務職員は、お引越しの最中でした。



演習室です。中はパソコンに向かう学生で一杯です。



正門から見たメイン通りです。右側では美術館の建設が始まろうとしています。



平地学部長発見!! (右です)



学食です。五目ちゃんぽんがお勧めです。



2月14日に起工式が開催されました。写真は沸淵学長です。



事務局前の『冬桜』は、今年も真冬に咲いています。地元テレビ局は、ネタに困ると撮影にやってきます。



木島事務長です。はじっこですいません。



「初心忘るべからず」

～ともしびプロジェクトを経験して～

経済学部経済システム課程 3年
はらかわ りか
原川 莉果

みなさん、こんにちは！私は最近、「初心」についてよく考えます。なぜでしょう？きっかけとなったのは、みなさんご存知、2011年3月11日に起きた東日本大震災です。

あの日私は、福岡県の自宅で、あの信じられない映像を見ていました。だけど、周囲ではいつも通りの時が流れ、深刻さはわかっていませんでした。そんな時、先輩からこんな連絡が。「明日の朝、トラックで東北へ行く！物資を持って来てほしい！」これを見たとき、「そうか！動かなきゃ！」とハッとしました。

だけど現実、運転免許を取ったばかりの私です。運転にも自信がない、料理にも自信がない。自立もできていないし力仕事もできるかどうか。いつもは前向きな私も、後ろ向きな考えしか持てませんでした。なぜ「できる自分」を準備していなかったのかと。

ところが、震災から1年半、私は宮城県にいました。約20日間のボランティア一人旅です。何もできなくても「話を聞いて、そばにいたこと」ならできる、と考え実行した結果、たくさんの絆を感じる事ができました。



それなのに九州で私を迎えたのは、以前と変わらぬ生活と景色。悲しみよりも恐ろしさを感じました。自分の目で身体で現実を感じてきた私にできること、それは「今いる場所から人と未来をつなげること」なのではないか。そこで始めた、「ともしびプロジェクト」という東北で出会った団体の、佐賀大学支部の発足、風化を和らげること。復興キャンドルを使ったワークショップを出店し、子どもから大人まで大勢の方々に参加していただきました。

多くのものをもたらした震災。それはマイナス面だけではありません。プラス面として、最初に述べた「初心」も思い出させてくれました。家族、友人、次々に出会う人との「絆」、支え合いの社会、「当たり前」だと「普通」だと感じていたもの、などです。震災によって人々の心に生まれた何かしらの想いを活かし、これからの社会を一段と輝かしいものにするためにも、この「初心」を忘れず、日々過ごしていきたいですね！

みなさんもぜひ、東北への想いをカタチにして、キャンドルを灯しませんか？ (^ ^)

これも何かの縁という話

職場の話題には事欠かない。もちろん仕事の話もするが、趣味（下手なゴルフ、ヘボ将棋etc.）の話、スポーツ、政治経済、家族の話、そして最近増えてきた健康の話。その中で学生生活の話もするものの、佐賀県人の特徴(?)として出身校の話になると出身校=最終学歴ではなく出身高校、中学になるみたいである。東京出身の先輩に一度この話をしてみたら不思議そうにされたが、そういう訳で職場でもあまり話題にならなかったわけである。ところが最近わかったことであるが、私の職場には11名の男性の仲間がいるのだが、そのうち5名が佐大OB（しかも経済学部）であることが判明したのである。何かの縁かもしれないがこれは珍しい。この短文の原稿を依頼されてから何を書くか困っていた私にとっては天の恵みであった。早速、仲間に佐大の思い出や印象について聞いてみた。

まずはIさん（S57年卒）「少々悪さをしてもらえらる佐大生だから大目に見てもらえる地域の人々の優しさがあつた。地元で溶け込んでいる気がした。」意外な話が聞けたHさん（S61年卒）「直接佐大には関係ないけど、自主映画作りに熱中

していた。役者になつての佐賀市内のロケ、有明海のロケ、青春だった。」本当に佐大に来てよかったと思えるYさん（H1年卒）「地元の大学なのになぜか友達は他県の人ばかりだった。ただその中で妻に出会えたのは最高の幸せだった。」一番若いSさん（H19年卒）「生協主催のスポーツ大会に毎回優勝目指しみんなで盛り上がっていた。その仲間とは今でも交流がある。」最後は私（S60年卒）「カッコをつけて言うならば、モラトリアムを享受でした。人生の充電ができたのも佐大のおかげかも…。本音を言うならば、1本30円の焼き鳥と『白波』で1,000円で飲めたことが懐かしい。」

この仲間アカデミックな思い出は無理とは思っていたが案の定であった。しかしながら、年代の違いや時代背景の相違、コメントは人それぞれだけど、何か底辺に流れるものは佐大らしさを醸し出しているようで面白いなあとと思う。あなたの職場、ご近所、隣で飲んでる人、ちょっと話しかけたら佐大OBかも…かもしれませんよ。

山村 隆介（S56入・経済）

ゼミナールの紹介 第11回

森 周子ゼミ

森ゼミは社会保障について学習しているゼミです。

2年次には年金や医療保険制度、生活保護などさまざまな社会保障の分野についての知識を深めます。そして3年次には興味を持った分野からテーマを決め、グループに分かれて、日本学生経済ゼミナール大会に出場します。森ゼミは毎年、その大会の討論部門へ必ず参加していますが、私たちの学年は初めてプレゼンテーション部門へも参加しました。討論グループは、論文を執筆し、その論文をもとに他大学と討論を行います。プレゼンテーショングループはパワーポイントを作成し、他大学とプレゼンテーション能力やその内容を競い合います。森ゼミでは社会保障について多く学びながらも、このようにディスカッション能力やプレゼンテーション能力の向上にも努めています。

また、食事会や合宿などを通して交流も深め



ており、先輩や後輩とはもちろんのこと、先生との仲もとても良いです。どんな発言をしても受け入れてもらえる、そんなゼミの雰囲気は、全員のやる気と積極性を引き出しています。

これからも一人ひとりが何事にも挑戦し、全力で取り組むことによって、成長していける森ゼミが続いていくよう、全員で頑張っていきたいと思います。

もり
森 みずほ

(経済学部経済システム課程3年)

歌は流れる その63

地域起こし 園田卯吉を叔父に持つ平松守彦は旧通産省の出身。立木勝知事の招聘で昭和50年7月副知事に迎えられ、54年知事の座に。6期24年間で手がけた一村一品運動は、麦焼酎やキウイ、カボス、シイタケ、関サバ、関アジなどの特産品を産出。げに地域起こしのモデルとして中国、フィリピンに及んだ。

だいぶんけん 誘致にきた有力企業の幹部が県名を「だいぶんけん」と言ったと聞く。平松は発憤、警策し汗みずくでこの運動に取り組んだ。こうして大分県は「だいぶんけん」の名を返上。アジアにも知られる県になる。

旧制大分中学から五高、東大法学部卒。大中の同期に元日本銀行総裁の三重野康がいた。

墳墓の地 昏昏と眠り続ける卯吉の靈魂は、大分市勢家町の住吉川べり、住宅に囲まれた浄土宗西応寺に残る。曾祖父の墓に入れられていた。計3基に9体分散していたのを、2年前に太一が1か所に纏め愁眉を開いた。70センチ高さ(3段の台石を入れ、高さ2疔)で「南無阿弥陀仏」の6字を刻む。墓前に佇めば、歴史の深い壁の中に埋もれかけていた「南に遠く」の歌声が飛翔して聞こえてきそうだ。

大正の歌 大正初期東京・麻布中学校から遙々やって来た梁田勝三郎は、念願の七高に入学する。北辰(北極星)を斜めに仰ぎ、濃い群青の錦江湾から桜島を望み浩然の気を養う。多情多感な感性は情熱的な風土に合った。早速原稿用紙に鋭い筆遣いを走らせる。「南に遠く」の前にこの名歌を紹介しよう。

北辰斜めに 梁田の情熱と客気を込めた歌は「北辰斜めにさすところ 大瀛の水洋々乎春花薫る神州の 正気はこもる白鶴城 芳英永久に朽せねば 歴史も古りぬ四百年」(5節構成)。作曲は東京音楽学校を出たばかりの若い鹿児島師範学校音楽教師須川政太郎。

思索や青春の感傷歌う 明治期の寮歌は富国強兵の気風から憂国・悲壮に満ちていた。大正期に入ると大正デモクラシーの風潮を受け個人の思索や青春の感傷を歌った。七高寮歌の曲は短調。歌詞にマッチしたメロデーで、戦前旧制中学校の応援歌など人口に膾炙された。

十五暁の四季 佐高の校地・十五暁は、四季それぞれの顔を見せる。北に天山、南に有明の海連らなる田園牧歌な地は、青春の血潮を煮え滾らせた。 **大谷 希幸 (30卒・法)**

北九州支部総会を久しぶりに開催して

支部総会を昨年11月30日に5年ぶりに北九州市小倉北区のホテルで開催しました。今までの支部総会の中では、今回の参加人数が一番少なく12名でした。従来から参加者が固定化していましたが、5年の間に高齢化が進み、多くの方が体調不良により不参加となりました。しかし、少ない参加者ゆえに一人ひとりの話しをじっくりと聞くことができ、各人の現況が良くわかり、有意義な会となりました。初めて参加された3名の方は社会の中堅クラスとして大いに活躍されており、頼もしく感じました。また、「今回が最後の支部同窓会出席になるかもしれない。」と言う年配の方や、「支



部同窓会が開催されないと、何々会う機会がない。」と言う方も久しぶりにゆっくり話げできました。二次会も大部分の方が参加され、ピアノのライブ演奏の店でお酒を飲みながら夜遅くまで話が弾みました。

世話人としては、もう少し前の時期に開催すべきであったと反省しています。今後の課題は農学、教育など新しい参加者をいかに増やすか、そして世話人の世代交代です。
橋本 朋雄 (40入 文理・経)

事務局日誌 (◇印は楠葉同窓会)

- | | |
|---|--|
| <p>H24. 11. 1 ◇会報「なんようNo97」発行
7 単位提供講座キャリアデザイン／講師 小松美穂氏 (文教学部卒)
7 佐大同窓会報「楠の葉」編集会議
8 佐大同窓会「学習会」／講師 佐賀新聞社 富吉賢太郎氏
14 単位提供講座キャリアデザイン／講師 大中勝宏氏 (理工学部卒)
14 佐大同窓会と就職内定者との懇談会／大学会館
14 佐大同窓会「庶務担当者部会」
15◇楠葉同窓会「役員会」
17 第20回佐賀県青春寮歌祭／エスプラッツホール
17 大分支部総会・懇親会／ホテルキャスル大分
17 山口支部総会・懇親会／美祢市秋吉台家族旅行村
17 佐世保支部総会・懇親会／佐世保レオプラザホテル
18 東京支部総会・懇親会／新宿ワシントンホテル
21 単位提供講座キャリアデザイン／講師 津留保生氏 (理工学部卒)
22◇「経済学部と楠葉同窓会との意見交換会」ニューオータニ佐賀
28 単位提供講座キャリアデザイン／在学生 (就職内定者5名)
30 北九州支部総会・懇親会／小倉リーセントホテル</p> | <p>12. 5 単位提供講座キャリアデザイン／講師 平原健司氏 (医学部卒)
5 佐大同窓会「庶務担当者部会」
12 単位提供講座キャリアデザイン／講師 島 歌織氏 (医学部卒)
19 単位提供講座キャリアデザイン／講師 永田洋一郎氏 (農学部卒)
12. 19 佐大同窓会「代表役員会」・「佛淵学長を囲む会」／佐嘉神社記念館
1. 7 佐大同窓会「庶務担当者部会」
9 単位提供講座キャリアデザイン／講師 野口千明氏 (農学部卒)
10 佐大同窓会「代表役員会」
16 単位提供講座キャリアデザイン総括
16◇楠葉同窓会「役員会」「旧役員との懇談会」／楊柳亭
23 単位提供講座キャリアデザイン反省会／同窓会小会議室
26 鹿児島支部総会・懇親会／魚将さかなちゃん
2. 6 佐大各学部後援会との打ち合せ会
6 佐大同窓会「広報担当部会」
7◇楠葉同窓会「編集会議」「正副会長会議」
14 佐大同窓会「代表役員会」
14 佐賀大学美術館起工式
19◇楠葉同窓会「2014年版名簿」会議
3. 14 佐大同窓会「代表役員会」
21◇楠葉同窓会「役員会」
25 佐賀大学平成24年度学位授与式</p> |
|---|--|

編集後記

「経済学部スケッチ」をご覧になって懐かしさを感じられた方も沢山おられたでしょう。私が卒業して凡そ30年。メインストリートや経済学部の校舎は当時の雰囲気を残していますが、実際にメインストリートを歩いてみると当時と比較して女子学生の割合が高くなったせいかわずかなく華やいだ感じがします。でも、私たちの先輩からすればもっと変わったと言われる方も多いでしょう。

新しい建物、新しい設備はより良い研究や快適な学生生活を送るため、ひいては佐大を目指す学生を増やすことに役立つ等必要なことと思います。ただ、50歳になって、建物一つにも懐かしさを感じるようになった今、単なる「スクラップ&ビルト」だけではなく佐大の香りを守り、伝統が目に見える形で残すことも大事なこともかもしれないと感じるのは私だけなのでしょうか。みなさんはどう思われますか？機会があれば是非キャンパスを訪ねてみてください。
文責；山村 隆介 (S56入・経済)

発行 佐賀大学楠葉同窓会
佐賀市本庄町 佐賀大学菱の実会館内
TEL 0952-23-1253
FAX 0952-25-5700
E-Mail: dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp

発行者 石丸 新 (40入・法)
編集者 松尾和俊 (58入・経)
代表者
郵便振替 [01760-9-25635]